

## 第100回全日本テニス選手権 岡村恭香がシングルス初優勝！ 小堀桃子がダブルスで戴冠！



今年キャリアハイを更新した岡村は、4年ぶりの全日本で成長したプレーを見せた



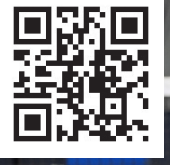
今まで3回戦進出が最高成績だったが、30歳という節目の年に優勝を果たした

岡村のコメントはこちら！



小堀桃子/山崎郁美組が女子ダブルスで全日本のタイトルを獲得

小堀のコメントはこちら！



10月5日から12日にわたり、有明コロシアムおよび有明テニスの森公園で、100回目を迎えた「三菱電機ビルソリューションズ 全日本テニス選手権 100th Supported by 橋本総業ホールディングス」が開催された。多くの所属選手が出場した中で、第2シードの岡村恭香が、全試合フルセットの接戦を制して、「絶対ほしいタイトル」を手に入れた。

決勝では2018年のチャンピオンである清水綾乃と対戦。ファイナルセットはブレイク合戦となったが、「相手のサービスゲームにプレッシャーをかけている自信があったので、自分のサービスゲームのどこかで（ギアを）上げることができたら、ブレイク1つ多く終われるのかなと思っていた」との考えとおり、7ゲーム目をキープ。残りのゲームもブレイクが続き、岡村が7-6(2)、3-6、6-4のスコアで勝利して頂

点に到達した。

大会期間中に誕生日を迎えて30歳となった岡村は、「選手として成熟している時に100回の記念大会を迎えられるということで、このタイミングで優勝できたら素晴らしい」と思い描いていたことが現実となった。100回記念のために集まったレジェンドたちと肩を並べ、「夢の中を生きているようです」と感無量だった。

女子ダブルスでは小堀桃子が山崎郁美とペアを組んで第1シードで出場。ペアを組んで2回目の大会だったが、真逆のプレイスタイルが機能して優勝を果たした。小堀は「決勝は2回目で1回目の時は本当に緊張して何もできませんでした。今日は緊張せずに最後まで楽しめたことが成長できたところかな」と喜んだ。

# 自己最高ランクを更新した 岡村恭香インタビュー

前編

プロ生活10年が過ぎ、今年ようやく全てのグランドスラム予選に出場できた岡村。23年、24年には引退さえ考えていた状態から、いかにして自己最高ランクまで登ってこれたのか。前編では浮上する切っ掛けをつかんだ話をしてしてもらった。

## 元世界24位の指導を受け精神的に安定 しかし上昇気流に乗り切れない…

——今年は初めて全てのグランドスラム予選に出場できました。その舞台に立てた感想を教えてください。

**岡村** プロ転向当初から目標にしていたのはグランドスラムの舞台で活躍することでした。プロ転向から10年が過ぎ、毎年その目標に向かって努力してきましたが、なかなか届きませんでした。今年、グランドスラム予選に出場することができて、ジュニアの時から1度も選ばれたことがなかったナショナルメンバーにも選んでいただきました。継続して努力すれば、実りは得られるということを、身をもって体験できた年でした。ここまで続けられたのは、周りの支えがあったお陰です。コロナの時期は特に、支援を打ち切られる選手が多い中、橋本会長は逆に手厚くしてくださって変わらない活動ができ、本当に感謝しています。

——2023年や24年には引退も考えていたそうですね。どういう状況だったのですか？

**岡村** 自分の中でできる最大限の努力をしているつもりでしたが、結果がついてきませんでした。これ以上、何を頑張ったらいいいのかもわからず、限界なのかと思いました。当時は兄にコーチをしてもらっていたのですが、兄や家族、トレーナーさんが、正しい方向には進んでいる、間違っていないと信じてくれていたので、できるところまでやってみようと。辞めることはいつでもできるので、完全にやり切ってから、本当に無理と思うところまでやってからと思いました。その時に、元世界24位の神尾米さんが指導してくれる「Team Rise」に入ることができました。当時、200位があと少しで切れず、もう一押し何かが必要と思った時に、本当に世界のトップを経験されている方の力を借りたいと思ったんです。

——どんな違いがありましたか？

**岡村** 精神的に安定するようになりました。今までは他の人の方が努力しているんじゃないだろうかなどを考えて、自分を信じ切ることができずに試合中に崩れてしまうことがありました。今は技術だけでなく、試合やテニスへの向き合い方を教えてもらい、少しずつ自分の実力を試合で出せるようになってきました。自分だったら1つの考え方しか思いつけないところ、新たな視点を教えてもらっています。いつも「それでいい。それで間違っていない」と認めてもらえるので、自分の選択に自信が持てるようになり、迷いながらテニスに臨むこともなくなりました。

——23年9月から指導を受けていますが、すぐに手ごたえを感じられたのですか？

**岡村** 始めてすぐに結果も出て良かったのですが、24年の年始から春先まで全然勝てなくなりました。これはかなり落ち込みました。このままランキングを上げていけるぞと思ったところで、その良い状態を保てない自分がかかりました。その時、メンタルの本などを読んで、「自分が勝とうと思って120%出しても、相手も120%出しているんだから、頑張っただけ負けたらしょうがないと思えるプレーをしよう」と考えられるようになり、6月にITFの台湾の大会でやっと決勝に行けました。

少しずつ自分の実力を  
試合で出せるように  
なってきました

——そこから3大会連続で決勝に進出。吹っ切れたんですか？

**岡村** 難しいです。それでグランドスラムに出られるわけではなかったし、3大会で決勝に行ったのに1つも優勝できませんでしたから。その後アメリカ遠征に行きましたが、思うように勝てませんでした。普通なら上り調子の時には、連続で結果が出せたりしますが、自分はそうはいかなかった。翌年の全豪オープンのエントリーが近づいていたため、ここでは本当にランキングを上げたかったんです。1大会でも多く出たいし、1試合でも多く勝ちたい状況でした。そんな中、大阪の木下グループジャパンオープンの予選に1番アウト（※出られない人の中で1番上のランキング）で出られなかったんです。正直出られる人をねたんでしまうぐらい落ち込みました。 ※ここからの上昇ストーリーは来月紹介します。

### PROFILE

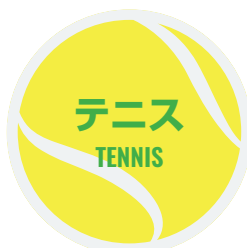
## 岡村 恭香

Kyoka Okamura

1995年10月6日生まれ。岡山県出身。右利き。2014年6月にプロ転向。25年に初めて100位台のランキングになり、全てのグランドスラム予選に出場。キャリアハイは178位（2025年2月17日付）。今年の全日本選手権シングルスチャンピオン

写真＝伊藤功巳





# team hat メンバーがリフレッシュ! 12月から日本リーグがスタート

昨年度、橋本総業ホールディングス女子が優勝し、男子が4位、橋本総業女子が3位に入った、実業団の最高峰の戦いである「テニス日本リーグ」。第40回となる大会のファーストステージが、12月4日(木)～7日(日)に行われる。昨年同様に3チームでエントリーしているが、メンバーは多少変わっており、4選手が新加入した。今回は3チームとも同じブルーブロックで、ファーストステージはブルボンビーンズドーム(兵庫)、セカンドステージと決勝トーナメントは横浜国際プール(神奈川)で実施される。普段は個人で戦う選手たちが、チームと一丸となって戦う姿をぜひ見に行こう!

## チームメンバー

## TEAM MEMBERS

### 橋本総業ホールディングス 女子

坂詰 姫野  
岡村 恭香  
小堀 桃子  
小関 みちか  
森崎 可南子  
小畑 沙織 監督  
吉田 友佳 総監督



昨年の優勝チームで、メンバーはほぼ同じ。全日本で岡村がシングルス優勝、小堀がダブルス優勝と調子も上向き。小堀/森崎ペアは前回大会で最高殊勲選手賞を受賞している。

第39回大会  
(昨年度)  
優勝

### 橋本総業

小林 ほの香  
吉本 菜月★  
北原 結乃  
大前 綾希子  
上村 睦実★  
井上 明里 監督

筑波大学からプロになった吉本と、高校からプロになった上村の2名が新加入。今回は橋本総業 HD チームで戦った北原が、このチームに移動。ベテランの大前は、この日本リーグを最後に引退を宣言している。



### 上村 睦実

Mutsumi Uemura

「初めてのリーグ戦ですが、緊張感を持って、楽しむことも忘れずに、チーム最年少らしく元気を出して、チームに貢献できるよう精一杯頑張ります!」



### 吉本 菜月

Natsuki Yoshimoto

「初めての日本リーグになりますが、気負わず思いっきりプレーしたいと思います! チームのために一勝を持って帰ります! 応援のほどよろしくお願い致します!」

## スケジュール

## SCHEDULE

### ファーストステージ

会場/ブルボンビーンズドーム 兵庫県三木市志染町三津田 1708

#### 12月4日(木) 10:40～

橋本総業 HD 男子 対 山喜

#### 12月5日(金) 10:10～

橋本総業 HD 男子 対 ルーセントアスリートワークス

橋本総業 HD 女子 対 九州電力

橋本総業女子 対 フクシマガリレイ

#### 12月6日(土) 10:10～

橋本総業 HD 男子 対 九州電力

橋本総業 HD 女子 対 センコーグループ

橋本総業女子 対 エームサービス

#### 12月7日(日) 10:10～

橋本総業 HD 男子 対 三菱電機

橋本総業 HD 女子 対 フクシマガリレイ

橋本総業女子 対 センコーグループ

### セカンドステージ

会場/横浜国際プール 神奈川県横浜市都筑区北山田 7-3-1

日程/[男子] 2026年1月21日(水)～25日(日)

[女子] 2026年1月24日(土)～25日(日)

### 決勝トーナメント

会場/横浜国際プール 神奈川県横浜市都筑区北山田 7-3-1

日程/[男女] 2026年2月13日(金)～15日(日)

### 橋本総業ホールディングス 男子

福田 創楽  
ビツウンテアン 零朗★  
三井 駿介★  
河内 一真  
吉村 大生  
杉山 記一 監督  
増田 健太郎 コーチ  
吉田 友佳 総監督

2名が新加入。ビツウンテアンはタイ生まれの海外育ちで JTA42 位。三井は高校時代から遠征などをサポートしていた若手選手。

### ビツウンテアン 零朗

Leo Vithoontien

新しくチームに入ったビツウンテアン 零朗です! 普段は個人戦なので、日本リーグではチームのみんなと戦える事がすごく楽しみです! 橋本総業ホールディングスの皆さんに良いテニスと良い結果をお見せできるように精一杯頑張ります! 優勝目指して頑張りますので、応援よろしくお願い致します!



### 三井 駿介

Shunsuke Mitsui

「テネシー大学を卒業してプロになりました、三井駿介です。この度、橋本総業ホールディングス Team HAT の一員として今年の日本リーグを戦うことになりました。高校時代からお世話になっている Team HAT の皆さんと共に日本リーグ優勝出来るように頑張りたいと思います!」



働くピックルボールプレーヤー

# HINANOのコラム

テニスの経験を生かし、ピックルボールというラケットスポーツにチャレンジする  
総務部の福永雛乃が、競技を通して目指すこれからの夢を語る！



## PICKLEBALL

### ワールドカップ日本代表に選出！

#### ピックルボールワールドカップ 日本代表選出と決意

9月6日に開催された日本代表選考会において優勝を果たし、ピックルボールワールドカップ日本代表選手（男女各3名）に選出いただきました。ワールドカップは10月下旬、本場アメリカで世界68カ国が集結して開催されます。男子ダブルス、女子ダブルス、ミックスダブルスを中心とした団体戦形式です。10月中旬にはJヴィレッジにてチーム合宿を行い、戦略の擦り合わせと厳しいトレーニングを通じて、チームの団結力を高めました。日本代表としての誇りを胸に、皆様からの応援を力に変え、メダル獲得を目指して全力で戦い抜きます。

#### Pickleball X championship 2025 準優勝 Pickleball X 第一期プロジェクト完結

3月から半年間にわたり世界で活躍する選手育成を目標に活動してきた「Pickleball X 第一期」プロジェクトが9月末をもって終了いたしました。半年前、ピックルボールの知識がゼロの状態からスタートしましたが、本気で向き合い、何より努力を惜しまない姿勢でこの半年間を走り切ることができました。

プロジェクト集大成として9月27日にはメンバー限定の「Pickleball X Championship 2025」（賞金総額300万円）が都内にて行われました。感謝の気持ちを忘れず、一戦一戦大切に戦い、熱戦の末、準優勝という結果を収めました。

優勝という形で恩返しをする事は出来ませんでしたが、この環境を提供してくださったスポンサー企業様、運営関係者の皆様、そして橋本総業の社員の皆様、応援してくださった全ての方々に心より感謝申し上げます。

そして、Pickleball X が生んだ熱き12名の選手たち。ここまで切磋琢磨し、互いに高め合いながら世界に挑戦してきた大切な仲間。最後はライバルとなり、苦しい場面もたくさんありましたが、互いの成長を讃え合う事が出来ました。どんな時でも明るくポジティブに支えてくれたメンバーにも大変感謝しておりますし、一生忘れられない時間を共に過ごす事が出来て私はとても幸せです。

「Pickleball X 第一期」の活動は終了しますが、選手としての道のりはやっとスタートラインに立ったところです。日本のピックルボールの発展に貢献し、日本と世界を結び架け橋となれるよう、今後も一層精進してまいります。引き続き、応援よろしくお願いいたします。

PROFILE

## 福永 雛乃

Hinano Fukunaga

鹿児島県生まれ。駒澤大学卒業後、橋本総業へ入社。幼少期はピアノにサックス、テニスや水泳等 様々なジャンルの習い事に触れ、中学以降はテニスに絞り、全国大会・国体に出場。大学では体育会に所属した。現在は、総務部業務とTEAM HATのマネージャーを務めながら、自身もピックルボール選手として活動中。



日本代表選考会において優勝し、ワールドカップ日本代表に選出されました！



66で優勝することができました!!100万GETです!イーグル2つ取れたのが優勝に繋がりました!!これからも試合が続くので優勝できるよう頑張ります!

## 小島 彩夏

Ayaka Kojima

いざ!!  
鎌倉女子オープン  
10月13日  
鎌倉CC

## 宮城 柚

Yuu Miyagi

優勝

## 宮城 杏

Kyo Miyagi

準優勝

妹の宮城柚が優勝、  
姉の宮城杏が準優勝!



沖縄女子  
ゴルフ選手権  
10月23日  
沖縄CC

社員の  
玉寄ひな子が25歳  
以上の部で優勝!



## 吉崎マーナが 最終プロテストに挑む

2025年11月4日(火)から7日(金)にわたり、岡山県のJFE 瀬戸内海ゴルフ倶楽部にて、2025年度ゴルフ最終プロテストが実施される。日本ジュニアゴルフ選手権に優勝したことで、プロテスト2次が免除となっていた吉崎マーナが最終プロテストに出場する。18歳で合格となるか、注目しよう。